

十日町市中魚沼郡教育振興会国語部の活動

国語部長 桑原 哲朗

1 研究主題 「児童生徒が意欲的に参加できる授業づくり」

2 年間事業

実施期日	事業名	内容 <会場>
4月28日(木)	郡市教振委員総会	組織、役割分担、テーマ決定、計画立案 <十日町市中央公民館>
7月15日(金)	研究部員会	NRT分析を踏まえた授業研究会の指導案検討 <田沢小学校>
8月23日(火)	郡市一斉研修	教育課程伝達講習、指導案説明 <情報館>
9月15日(木)	授業研究会	授業研究、小グループ協議、講演会 <田沢小学校>
H24 1月10日まで	実践レポート作成、 提出	1, 2学期の実践をレポート作成し、教育センターへ送信(センター連携事業)
H24 1月21日~31日	レポート交流	部員を小グループに分け、メールでコメントを交流(センター連携事業)

3 主な事業の概要

(1) 郡市一斉研修(13:00~16:00)

大淵利枝子教諭(十日町小学校)と吉楽均教諭(松代中学校)より教育課程伝達講習をしていただいた。次に、田沢小学校研究主任・授業者より授業研究会の指導案説明があり、活発な質疑が行われた。

(2) 授業研究会(13:30~16:45)

単元名 1年「わたしのはっけん ~『さくらのひみつはっぴょうかい』をしよう」
授業者は下鳥陽代教諭。生活科で飼育している山羊との体験を題材に、作文を書く授業である。擬声語・擬態語を「わんわん言葉」「きらきら言葉」と言い換え、自分なりにとらえて自らの表現に生かしていた。

その後の小グループによる協議会を、学年部別で実施。こどもの思考力の高まりは、どのような姿からみとることができたか。本時における対話は、こどもの思考力を広げたり高めたりする手立てとして有効であったかの2点から検討した。

講演会では、文部科学省教科調査官・水戸部修治様より「魅力ある国語科の授業づくりと学習評価の改善」についてお話しいただいた。国語科における言語活動の充実とは、言語活動を通して指導事項を指導すること、言語活動を通して指導するには4つのステップがあることなどを具体的に示していただき、大いに参考になった。